

令和3年1月1日

## 「ミフネ生誕100年」

市民団体代表 高谷和生

2020年「世界のミフネ」と呼ばれ、日本を代表する俳優である三船敏郎さんが生誕100年を迎えた。各地で記念イベント等が開催されたが、熊本県南豪雨被害やコロナ災禍のなか、残念ながら当地では紹介行事等は開催ができなかった。

私の大好きな映画「七人の侍（黒沢明監督）」は、2018年に英国放送協会（BBC）が史上最高の外国語映画第1位に選ばれた。また、ミフネに縁のある成城の東宝スタジオメインゲート横には七人の侍ワンシーン「菊千代」が、巨大壁画となって来場者を迎えている。

ミフネは旧満州大連に生まれ、熊本市南区城南町の陸軍隈庄飛行場で敗戦を迎えた。三船プロダクションへの訪問時、息子の史郎さんからミフネが涙ながらに「最後の出撃前夜、少年兵にスキヤキをふるまった」こと。敗戦の報を聞き「ざまあみやがれ、戦争なんかクソくらえだ」と語ったことを知った。

年末放映されたBS放送「三船敏郎～サムライと呼ばれた男の実像～」で、ミフネが演じた指令官が、部下に特攻を否定する訓示の姿に、無謀な戦争への強い憤りを持ったミフネの敗戦の姿が重なった。

2021年は太平洋戦争開戦から80年。戦争の犠牲者を悼み、平和を祈ってきたサムライミフネの思いを継承し、隈庄飛行場の戦争実相を伝える活動を拡げていきたい。

